

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	5年間(2012年5月30日～2017年5月29日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ米国厳選株マザーファンドの受益証券
	ダイワ米国厳選株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式(上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR(預託証券)を含みます。)
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、米国の株式(※)の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより信託財産の成長をめざします。</p> <p>※当ファンドにおける米国の株式とは、米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式(上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR(預託証券)を含みます。)をいいます。</p> <p>②以下の方針を基本として運用を行ないます。</p> <p>イ. 米国の株式の中から流動性等を勘案し、投資対象銘柄を選定します。</p> <p>ロ. 投資対象銘柄から、個別企業の経営戦略、業績動向および株価バリュエーション等を考慮し、調査対象銘柄を決定します。</p> <p>ハ. 調査対象銘柄に対して企業訪問による調査や綿密な財務分析等を行ない、株式の本源的価値(※)と比較して割安と判断される銘柄を組入候補銘柄とします。</p> <p>※株式の本源的価値とは、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーが独自に評価した企業本来の価値をいいます。</p> <p>ニ. 組入候補銘柄から銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託します。</p> <p>④株式の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p> <p>※ベビーファンド「Aコース(為替ヘッジあり)」においては、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために、為替ヘッジを行ないます。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド(当ファンド)とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ-

Aコース(為替ヘッジあり) Bコース(為替ヘッジなし)

運用報告書(全体版) 第8期

(決算日 2016年5月30日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ-」は、このたび、第8期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212

(営業日の9:00~17:00)

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<3847>
<3848>

★ Aコース (為替ヘッジあり)

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		株式組入 比率	株式先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
4期末 (2014年5月28日)	11,338	200	4.1	14,349	5.8	91.7	—	2,648
5期末 (2014年11月28日)	11,214	1,200	9.5	15,557	8.4	89.5	—	2,390
6期末 (2015年5月28日)	11,014	600	3.6	15,937	2.4	94.2	—	2,331
7期末 (2015年11月30日)	9,990	0	△ 9.3	15,687	△ 1.6	93.0	—	2,049
8期末 (2016年5月30日)	9,640	0	△ 3.5	15,754	0.4	93.6	—	1,768

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の原指数をもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

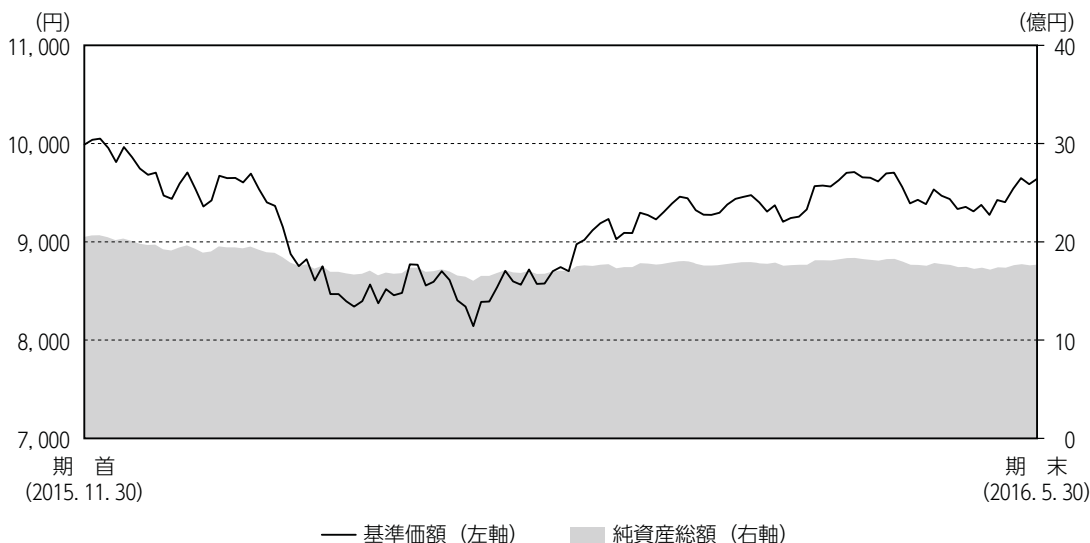
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 株式先物比率は買建比率 - 売建比率です。

《運用経過》

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

期首：9,990円

期末：9,640円

騰落率：△3.5%

■基準価額の主な変動要因

保有していた不動産関連銘柄やエネルギー関連銘柄のパフォーマンスが悪化したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Aコース (為替ヘッジあり)

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比
	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)		
(期 首) 2015年11月30日	円	%			%	%
	9,990	—	15,687	—	93.0	—
12月末	9,694	△ 3.0	15,598	△ 0.6	93.1	—
2016年1月末	8,480	△ 15.1	14,210	△ 9.4	94.4	—
2月末	8,744	△ 12.5	14,620	△ 6.8	95.2	—
3月末	9,438	△ 5.5	15,490	△ 1.3	93.1	—
4月末	9,704	△ 2.9	15,724	0.2	92.1	—
(期 末) 2016年5月30日	9,640	△ 3.5	15,754	0.4	93.6	—

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について**○米国株式市況**

米国株式市況は、E C B（欧州中央銀行）の追加金融緩和策が市場の期待を下回ったことや、中国経済の先行き懸念などから下落して始まりました。さらに2016年1月に入ると、中国・人民元および中国株の下落、原油価格の急落などの金融市場の混乱を受け、米国株式市況も大きく下落しました。2月中旬以降は、原油価格の反発や米国経済指標の改善などを受けて上昇に転じ、その後もE C Bによる追加金融緩和の発表や、F O M C（米国連邦公開市場委員会）で利上げが見送られたことにより、その後の利上げペースも緩やかなものになるとの見通しを受けて、騰勢を強めました。5月以降は、堅調な米国経済指標や4月のF O M C議事録の内容を受け、利上げへの警戒感から上値の重い展開となり、期末を迎えました。

前期における「今後の運用方針」**○当ファンド**

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために為替ヘッジを行ないます。

○ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。

セクター別では、利益率の改善が期待される金融セクター、好調な個人消費から恩恵を受ける一般消費財・サービスセクターを中心に投資してまいります。地政学リスクの高まりなどから株価が大きく調整した場合には、一貫した投資哲学のもと本源的価値対比で割安になった優良銘柄への投資機会を探ってまいります。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券に投資しました。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために、為替ヘッジを行ないました。

○ダイワ米国厳選株マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

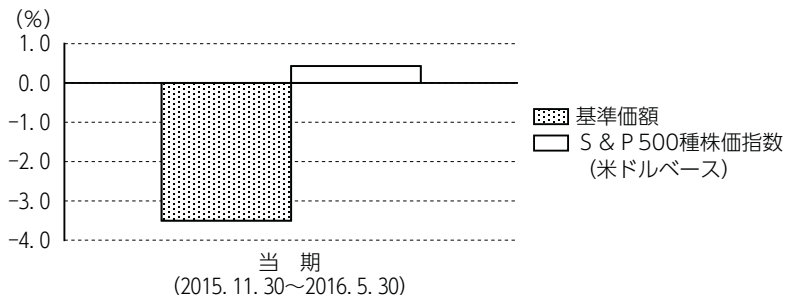
当期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して30%以上割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融セクター、一般消費財・サービスセクター、情報技術セクターを高位で組み入れました。銘柄別では、WELLS FARGO、AMERICAN INTERNATIONAL GROUP、CUMMINSなどを高位で組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配は見送りとさせていただきます。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2015年12月1日 ～2016年5月30日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	813

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために為替ヘッジを行ないます。

○ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。

株主還元や経営効率化に向けたコスト削減などに取り組む企業や、主力製品で高いマーケットシェアやグローバルな販売網を有する企業などに投資妙味があると考えます。また、個別銘柄では、モーゲージなど個人向け金融事業で利益成長が期待される銀行や、北米や新興国において売上成長が期待される自動車関連銘柄などに注目してまいります。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2015. 12. 1~2016. 5. 30)		
	金 額	比 率	
信託報酬	85円	0. 929%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9, 198円です。
(投信会社)	(48)	(0. 526)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(35)	(0. 376)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(2)	(0. 027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	4	0. 044	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数
(株式)	(4)	(0. 044)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	0	0. 001	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(0)	(0. 001)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0. 016	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0. 013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	91	0. 990	

(注 1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年12月1日から2016年5月30日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国厳選株マザーファンド	125,994	267,000	143,617	318,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2015年12月1日から2016年5月30日まで)

項 目	当 期
	ダイワ米国厳選株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	8,011,937千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	8,341,522千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.96

(注1) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国厳選株マザーファンド	806,716	789,094	1,759,995

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年5月30日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国厳選株マザーファンド	1,759,995	96.3
コール・ローン等、その他	66,988	3.7
投資信託財産総額	1,826,984	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月30日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=110.73円です。

(注3) ダイワ米国厳選株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(7,003,359千円)の投資信託財産総額(7,088,647千円)に対する比率は、98.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年5月30日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,458,490,060円
コール・ローン等	47,418,064
ダイワ米国厳選株マザーファンド(評価額)	1,759,995,596
未収入金	1,651,076,400
(B) 負債	1,689,589,076
未払金	1,670,966,000
未払解約金	1,917,400
未払信託報酬	16,657,482
その他未払費用	48,194
(C) 純資産総額(A-B)	1,768,900,984
元本	1,834,869,848
次期繰越損益金	△ 65,968,864
(D) 受益権総口数	1,834,869,848口
1万口当り基準価額(C/D)	9,640円

* 期首における元本額は2,051,707,296円、当期中における追加設定元本額は25,982,367円、同解約元本額は242,819,815円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,640円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は65,968,864円です。

■損益の状況

当期 自2015年12月1日 至2016年5月30日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 846円
受取利息	2,215
支払利息	△ 3,061
(B) 有価証券売買損益	△ 46,150,503
売買益	262,162,634
売買損	△ 308,313,137
(C) 信託報酬等	△ 16,705,676
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 62,857,025
(E) 前期繰越損益金	△ 77,967,878
(F) 追加信託差損益金	74,856,039
(配当等相当額)	(44,687,029)
(売買損益相当額)	(30,169,010)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 65,968,864
次期繰越損益金 (G)	△ 65,968,864
追加信託差損益金	74,856,039
(配当等相当額)	(44,687,029)
(売買損益相当額)	(30,169,010)
分配準備積立金	104,630,124
繰越損益金	△ 245,455,027

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表を参照。

(注4) 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用: 5,091,830円(未監査)

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,128,034円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	44,687,029
(d) 分配準備積立金	103,502,090
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	149,317,153
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	149,317,153
(h) 受益権総口数	1,834,869,848口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

★Bコース (為替ヘッジなし)

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (円換算)		株式組入 比率	株式先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
4期末 (2014年5月28日)	11,380	400	4.0	18,397	5.8	92.1	—	4,268
5期末 (2014年11月28日)	11,421	2,900	25.8	23,133	25.7	90.7	—	4,023
6期末 (2015年5月28日)	11,414	950	8.3	24,786	7.1	92.0	—	5,465
7期末 (2015年11月30日)	10,259	0	△ 10.1	24,231	△ 2.2	93.0	—	5,228
8期末 (2016年5月30日)	8,992	0	△ 12.4	21,940	△ 9.5	93.0	—	4,324

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (円換算) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

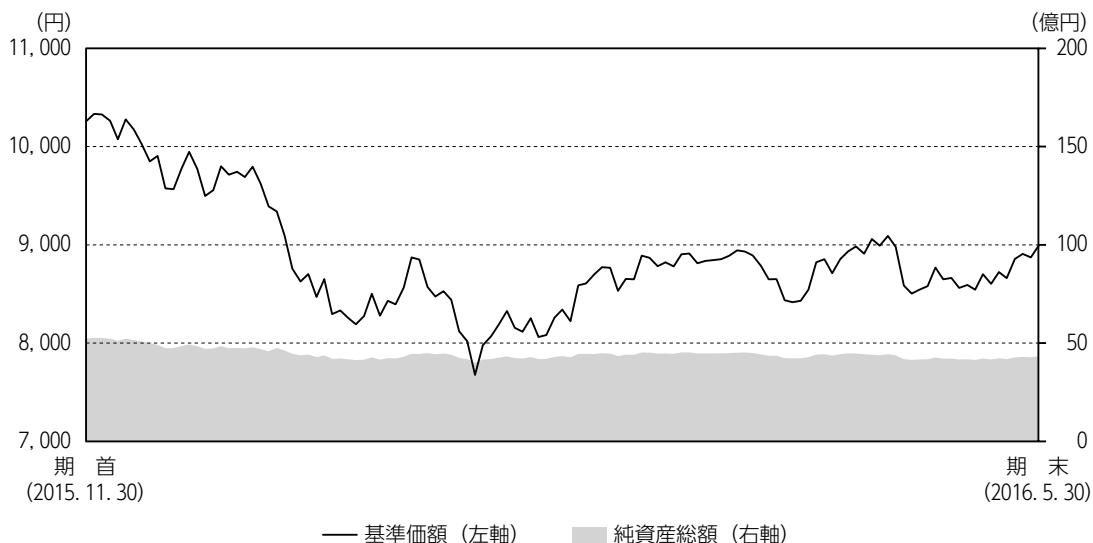
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 株式先物比率は買建比率 - 売建比率です。

《運用経過》

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

期首：10,259円

期末：8,992円

騰落率：△12.4%

■基準価額の主な変動要因

保有していた不動産関連銘柄やエネルギー関連銘柄のパフォーマンスが悪化したことや、米ドルが対円で下落したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Bコース (為替ヘッジなし)

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (円換算)		株 式 組 入 率 比	株 式 先 物 率 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2015年11月30日	円	%		%	%	%
	10,259	—	24,231	—	93.0	—
12月末	9,795	△ 4.5	23,661	△ 2.4	94.9	—
2016年1月末	8,566	△ 16.5	21,602	△ 10.9	92.6	—
2月末	8,341	△ 18.7	20,893	△ 13.8	94.5	—
3月末	8,945	△ 12.8	21,952	△ 9.4	93.5	—
4月末	8,979	△ 12.5	21,705	△ 10.4	93.4	—
(期末) 2016年5月30日	8,992	△ 12.4	21,940	△ 9.5	93.0	—

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は、E C B（欧州中央銀行）の追加金融緩和策が市場の期待を下回ったことや、中国経済の先行き懸念などから下落して始まりました。さらに2016年1月に入ると、中国・人民元および中国株の下落、原油価格の急落などの金融市場の混乱を受け、米国株式市況も大きく下落しました。2月中旬以降は、原油価格の反発や米国経済指標の改善などを受けて上昇に転じ、その後もE C Bによる追加金融緩和の発表や、F O M C（米国連邦公開市場委員会）で利上げが見送られたことにより、その後の利上げペースも緩やかなものになるとの見通しを受けて、騰勢を強めました。5月以降は、堅調な米国経済指標や4月のF O M C議事録の内容を受け、利上げへの警戒感から上値の重い展開となり、期末を迎えました。

○為替相場

米ドルの対円相場は、原油価格や中国株式市況の下落などからリスク回避的な動きが強まり、下落して始まりました。2016年1月下旬に日銀がマイナス金利を導入し、一時円安が進行しましたが、その効果は限定的で再び下落に転じました。その後も、米国の利上げへの慎重な姿勢や、4月の日銀の金融政策決定会合で追加緩和が見送られたことなどを受けて、米ドルの対円相場は下落して期末を迎えました。

前期における「今後の運用方針」

○当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

○ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。

セクター別では、利益率の改善が期待される金融セクター、好調な個人消費から恩恵を受ける一般消費財・サービスセクターを中心に投資してまいります。地政学リスクの高まりなどから株価が大きく調整した場合には、一貫した投資哲学のもと本源的価値対比で割安になった優良銘柄への投資機会を探ってまいります。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券に投資しました。

○ダイワ米国厳選株マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

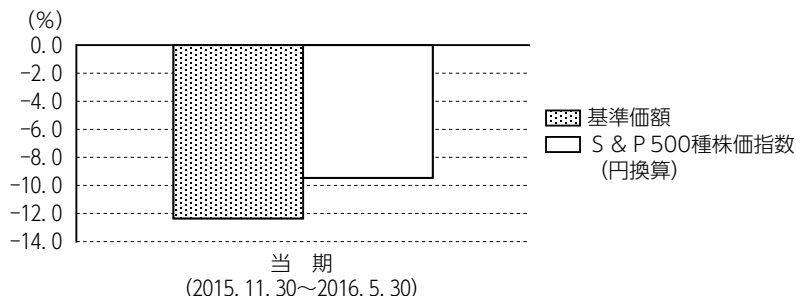
当期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して30%以上割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融セクター、一般消費財・サービスセクター、情報技術セクターを高位で組み入れました。銘柄別では、WELLS FARGO、AMERICAN INTERNATIONAL GROUP、CUMMINSなどを高位で組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配は見送りとさせていただきます。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2015年12月1日 ～2016年5月30日	
当期分配金（税込み）（円）		—
対基準価額比率（％）		—
当期の収益（円）		—
当期の収益以外（円）		—
翌期繰越分配対象額（円）		729

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

○ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。

株主還元や経営効率化に向けたコスト削減などに取り組む企業や、主力製品で高いマーケットシェアやグローバルな販売網を有する企業などに投資妙味があると考えます。また、個別銘柄では、モーゲージなど個人向け金融事業で利益成長が期待される銀行や、北米や新興国において売上成長が期待される自動車関連銘柄などに注目してまいります。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2015. 12. 1~2016. 5. 30)		
	金 額	比 率	
信託報酬	82円	0. 929%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8, 851円です。
(投信会社)	(47)	(0. 526)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(33)	(0. 376)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(2)	(0. 027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	4	0. 045	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数
(株式)	(4)	(0. 045)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	0	0. 001	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(0)	(0. 001)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0. 016	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0. 013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	88	0. 991	

(注 1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Bコース (為替ヘッジなし)

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年12月1日から2016年5月30日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国厳選株マザーファンド	184,632	407,000	327,374	732,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2015年12月1日から2016年5月30日まで)

項 目	当 期
	ダイワ米国厳選株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	8,011,937千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	8,341,522千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.96

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	期 首	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国厳選株マザーファンド	2,058,878	1,916,136	4,273,751

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年5月30日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国厳選株マザーファンド	4,273,751	97.7
コール・ローン等、その他	101,086	2.3
投資信託財産総額	4,374,838	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月30日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=110.73円です。

(注3) ダイワ米国厳選株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(7,003,359千円)の投資信託財産総額(7,088,647千円)に対する比率は、98.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年5月30日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	4,374,838,112円
コール・ローン等	50,086,895
ダイワ米国厳選株マザーファンド (評価額)	4,273,751,217
未収入金	51,000,000
(B) 負債	50,454,918
未払解約金	8,989,646
未払信託報酬	41,345,693
その他未払費用	119,579
(C) 純資産総額 (A - B)	4,324,383,194
元本	4,809,207,259
次期繰越損益金	△ 484,824,065
(D) 受益権総口数	4,809,207,259口
1万口当り基準価額 (C / D)	8,992円

* 期首における元本額は5,096,909,164円、当期中における追加設定元本額は497,139,159円、同解約元本額は784,841,064円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,992円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は484,824,065円です。

■損益の状況

当期 自2015年12月1日 至2016年5月30日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,514円
受取利息	5,085
支払利息	△ 3,571
(B) 有価証券売買損益	△ 515,752,526
売買益	84,329,194
売買損	△ 600,081,720
(C) 信託報酬等	△ 41,465,272
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 557,216,284
(E) 前期繰越損益金	△ 384,843,159
(F) 追加信託差損益金	457,235,378
(配当等相当額)	(274,567,120)
(売買損益相当額)	(182,668,258)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 484,824,065
次期繰越損益金 (G)	△ 484,824,065
追加信託差損益金	457,235,378
(配当等相当額)	(274,567,120)
(売買損益相当額)	(182,668,258)
分配準備積立金	76,063,252
繰越損益金	△ 1,018,122,695

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表を参照。

(注4) 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用: 12,752,889円(未監査)

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,653,503円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	274,567,120
(d) 分配準備積立金	72,409,749
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	350,630,372
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	350,630,372
(h) 受益権総口数	4,809,207,259口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

運用報告書 第8期 (決算日 2016年5月30日)

(計算期間 2015年12月1日～2016年5月30日)

ダイワ米国厳選株マザーファンドの第8期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みません。また、DR（預託証券）を含みません。）
運用方法	<p>①主として、米国の株式（※）の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより信託財産の成長をめざします。</p> <p>※当ファンドにおける米国の株式とは、米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR（預託証券）を含みます。）をいいます。</p> <p>②以下の方針を基本として運用を行ないます。</p> <p>イ. 米国の株式の中から流動性等を勘案し、投資対象銘柄を選定します。</p> <p>ロ. 投資対象銘柄から、個別企業の経営戦略、業績動向および株価バリュエーション等を考慮し、調査対象銘柄を決定します。</p> <p>ハ. 調査対象銘柄に対して企業訪問による調査や綿密な財務分析等を行ない、株式の本源的価値（※）と比較して割安と判断される銘柄を組入候補銘柄とします。</p> <p>※株式の本源的価値とは、ハリス・アソシエーツ・エル・ピーが独自に評価した企業本来の価値をいいます。</p> <p>ニ. 組入候補銘柄から銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエーツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託します。</p> <p>④株式の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	無制限

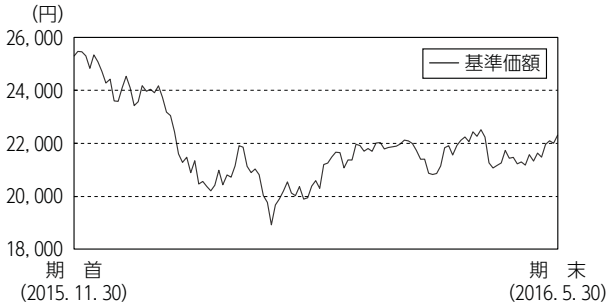
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年月日	基準価額		S&P500種株価指数 (円換算)		株式組入	株式先物
	円	%	(参考指数)	%	比率	比率
(期首) 2015年11月30日	25,286	—	24,231	—	93.4	—
12月末	24,172	△ 4.4	23,661	△ 2.4	95.6	—
2016年1月末	21,143	△ 16.4	21,602	△ 10.9	93.2	—
2月末	20,585	△ 18.6	20,893	△ 13.8	95.0	—
3月末	22,118	△ 12.5	21,952	△ 9.4	93.9	—
4月末	22,234	△ 12.1	21,705	△ 10.4	93.6	—
(期末) 2016年5月30日	22,304	△ 11.8	21,940	△ 9.5	94.1	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) S & P 500種株価指数 (円換算) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 株式先物比率は買建比率 - 売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
期首：25,286円 期末：22,304円 騰落率：△11.8%
【基準価額の主な変動要因】

保有していた不動産関連銘柄やエネルギー関連銘柄のパフォーマンスが悪化したことや、米ドルが対円で下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は、ECB (欧州中央銀行) の追加金融緩和策が市場の期待を下回ったことや、中国経済の先行き懸念などから下落して始まりました。さらに2016年1月に入ると、中国・人民元および中国株の下落、原油価格の急落などの金融市場の混乱を受け、米国株式市況も大きく下落しました。2月中旬以降は、原油価格の反発

や米国経済指標の改善などを受けて上昇に転じ、その後もECBによる追加金融緩和の発表や、FOMC (米連邦公開市場委員会) による利上げが見送られたことにより、その後の利上げペースも緩やかなものになるとの見通しを受けて、騰勢を強めました。5月以降は、堅調な米国経済指標や4月のFOMC議事録の内容を受け、利上げへの警戒感から上値の重い展開となり、期末を迎えました。

○為替相場

米ドルの対円相場は、原油価格や中国株式市況の下落などからリスク回避的な動きが強まり、下落して始まりました。2016年1月下旬に日銀がマイナス金利を導入し、一時円安が進行しましたが、その効果は限定的で再び下落に転じました。その後も、米国の利上げへの慎重な姿勢や、4月の日銀の金融政策決定会合で追加緩和が見送られたことを受けて、米ドルの対円相場は下落して期末を迎えました。

◆前期における「今後の運用方針」

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。

セクター別では、利益率の改善が期待される金融セクター、好調な個人消費から恩恵を受ける一般消費財・サービスセクターを中心に投資してまいります。地政学リスクの高まりなどから株価が大きく調整した場合には、一貫した投資哲学のもと本源的価値対比で割安になった優良銘柄への投資機会を探ってまいります。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

当期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。銘柄選択にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して30%以上割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融セクター、一般消費財・サービスセクター、情報技術セクターを高位で組み入れました。銘柄別では、WELLS FARGO, AMERICAN INTERNATIONAL GROUP, CUMMINGSなどを高位で組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。

株主還元や経営効率化に向けたコスト削減などに取り組む企業や、主力製品で高いマーケットシェアやグローバルな販売網を有する企業などに投資妙味があると考えます。また、個別銘柄では、モーゲージなど個人向け金融事業で利益成長が期待される銀行や、北米や新興国において売上成長が期待される自動車関連銘柄などに注目してまいります。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	11円 (11)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用)	3 (3)
合 計	14

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

株 式

(2015年12月1日から2016年5月30日まで)

国	株 式	買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株	千アメリカ・ドル	百株	千アメリカ・ドル
		2,793 (△ 15.72)	20,062 (—)	19,617.78	49,678

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

株 式

(2015年12月1日から2016年5月30日まで)

当 期				期			
買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
GOLDMAN SACHS GROUP INC (アメリカ)	26.1	485,074	18,585	INTEL CORP (アメリカ)	160	571,777	3,573
BAXTER INTERNATIONAL INC (アメリカ)	76	332,697	4,377	APPLIED MATERIALS INC (アメリカ)	193	448,197	2,322
ALPHABET INC-CL C (アメリカ)	3.7	289,898	78,351	ANADARKO PETROLEUM CORP (アメリカ)	87	440,680	5,065
QUINTILES TRANSNATIONAL HOLD (アメリカ)	33	245,044	7,425	WELLS FARGO & CO (アメリカ)	54.5	313,687	5,755
CHARTER COMMUNICATIONS INC-A (アメリカ)	6.6	144,040	21,824	AON PLC (イギリス)	29	311,981	10,757
CUMMINS INC (アメリカ)	10.5	113,498	10,809	MICROSOFT CORP (アメリカ)	47.2	285,075	6,039
ANADARKO PETROLEUM CORP (アメリカ)	19	107,876	5,677	AMERICAN INTERNATIONAL GROUP (アメリカ)	42.2	270,467	6,409
TIFFANY & CO (アメリカ)	12.5	99,165	7,933	GENERAL MOTORS CO (アメリカ)	73.5	265,508	3,612
CARMAX INC (アメリカ)	12	76,076	6,339	JPMORGAN CHASE & CO (アメリカ)	37.5	262,112	6,989
CATERPILLAR INC (アメリカ)	6.5	50,102	7,708	GLENCORE PLC -UNSP ADR (ジャージー)	875	257,538	294

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

外国株式

銘 柄	期 首	当 期 末		業 種 等	
		株 数	評 価 額		
	株 数	外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ)					
TRIBUNE MEDIA CO - A	1,050	733	2,947	326,364	一般譲附・サービス
APPLE INC	145	—	—	—	情報技術
JPMORGAN CHASE & CO	910	590	3,860	427,458	金融
CATERPILLAR INC	640	438	3,151	349,004	資本財・サービス
CUMMINS INC	440	352	3,986	441,375	資本財・サービス
GENERAL MOTORS CO	1,780	1,150	3,609	399,718	一般譲附・サービス

銘 柄	期 首	当 期 末		業 種 等	
		株 数	評 価 額		
	株 数	外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
GOLDMAN SACHS GROUP INC	—	197	3,142	347,995	金融
ALPHABET INC-CL C	—	36.5	2,674	296,115	情報技術
CHARTER COMMUNICATIONS INC-A	166	146	3,211	355,616	一般譲附・サービス
CBRE GROUP INC - A	1,120	720	2,128	235,668	金融
GLENCORE PLC -UNSP ADR	8,750	—	—	—	素材
TIFFANY & CO	470	373	2,332	258,304	一般譲附・サービス
NOW INC	1,000	—	—	—	資本財・サービス

銘柄	期首		当期末		業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千円	千円		
QUINTILES TRANSNATIONAL HOLD	—	330	2,201	243,727	ヘルスケア	
WELLS FARGO & CO	1,340	870	4,423	489,863	金融	
VISA INC-CLASS A SHARES	270	—	—	—	情報技術	
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	1,100	748	4,362	483,041	金融	
ANADARKO PETROLEUM CORP	680	—	—	—	エネルギー	
AON PLC	580	310	3,367	372,886	金融	
APPLIED MATERIALS INC	2,680	910	2,224	246,267	情報技術	
BAXTER INTERNATIONAL INC	—	556	2,408	266,641	ヘルスケア	
INTEL CORP	1,570	—	—	—	情報技術	
CARMAX INC	540	412	2,207	244,481	一般消費サービス	
MICROSOFT CORP	1,150	723	3,782	418,862	情報技術	
BLACKROCK INC	152	98	3,577	396,178	金融	
ファンド	株数、金額	26,533	9,692.5	59,600	6,599,574	
合計	銘柄数<比率>	21銘柄	19銘柄		<94.1%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年5月30日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	6,599,574	93.1%
コール・ローン等、その他	489,073	6.9%
投資信託財産総額	7,088,647	100.0%

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月30日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝110.73円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(7,003,359千円)の投資信託財産総額(7,088,647千円)に対する比率は、98.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年5月30日現在

項目	当期末
(A) 資産	7,198,177,792円
コール・ローン等	323,403,505
株式(評価額)	6,599,574,549
未収入金	260,477,908
未取配当金	14,721,830
(B) 負債	182,720,647
未払金	110,720,000
未払解約金	72,000,000
その他未払費用	647
(C) 純資産総額(A-B)	7,015,457,145
元本	3,145,353,491
次期繰越損益金	3,870,103,654
(D) 受益権総口数	3,145,353,491口
1万口当り基準価額(C/D)	22,304円

* 期首における元本額は4,872,239,253円、当期中における追加設定元本額は692,305,635円、同解約元本額は2,419,191,397円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイ Aコース(為替ヘッジあり) 789,094,152円、ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイ Bコース(為替ヘッジなし) 1,916,136,665円、ダイワ米国厳選バリュー株ファンド(ダイワSMA専用) 440,122,674円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は22,304円です。

■損益の状況

当期 自2015年12月1日 至2016年5月30日

項目	当期
(A) 配当等収益	86,445,006円
受取配当金	86,438,630
受取利息	22,611
支払利息	△ 16,235
(B) 有価証券売買損益	△ 1,584,003,647
売買益	384,262,052
売買損	△ 1,968,265,699
(C) その他費用	△ 1,106,754
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,498,665,395
(E) 前期繰越損益金	7,447,883,287
(F) 解約差損益金	△ 2,981,808,603
(G) 追加信託差損益金	902,694,365
(H) 合計(D+E+F+G)	3,870,103,654
次期繰越損益金(H)	3,870,103,654

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。